Inspired by patients.
Driven by science.

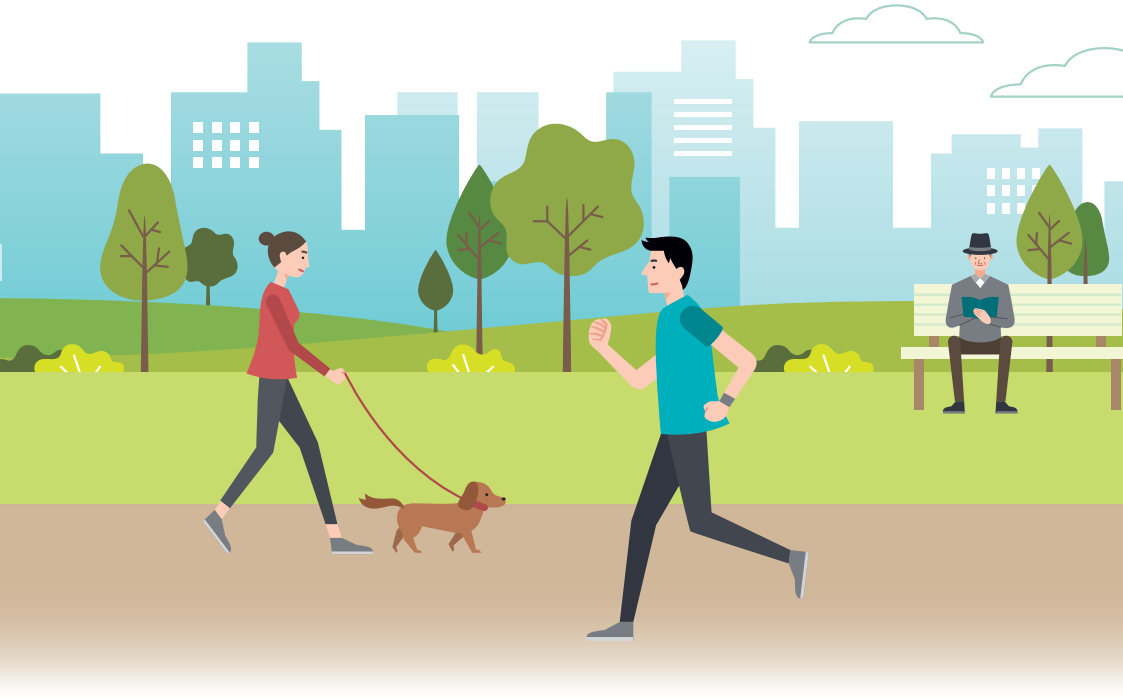
医薬品リスク管理計画
(RMP)

本資材は医薬品リスク管理計画に
基づき作成された資材です

ビンゼレックス®による
乾癬治療を受けられる方へ

監修：森田 明理 先生

名古屋市立大学大学院医学研究科 加齢・環境皮膚科学 教授



ユーシービージャパン株式会社

もくじ

- はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

- ＜尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症＞
  - ビンゼレックス®の特徴 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
  - ビンゼレックス®の投与スケジュール ・・・・・・・・・・・・ 4

- ＜乾癬性関節炎＞
  - ビンゼレックス®の特徴 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
  - ビンゼレックス®の投与スケジュール ・・・・・・・・・・・・ 6

- ビンゼレックス®は注射薬 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

- ビンゼレックス®を注射する部位 ・・・・・・・・・・・・・・ 8

- ビンゼレックス®による治療を受けるにあたって ・・ 9

- 日常生活の注意点 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

はじめに

乾癬の症状が良くなったら、どんなことがしたいでしょうか?

病気の治療にあたっては、その病気のことや治療内容についてよく理解したうえで、目標をもって治療に取り組むことがとても大切です。

乾癬は、症状によってはやりたいことができず、心身ともに影響を受ける疾患といわれています。乾癬の治療法はいくつかありますが、おそらく、これまでできなかったことを実現するために生物学的製剤の1つであるビンゼレックス®による治療を選択された方もいらっしゃるのではないかと思います。

乾癬治療に携わるすべての医療従事者があなたの治療目標を実現するためのサポーターです。治療を進めていくなかで不安なことがあれば何でも相談してください。

目標に向かって、主治医の先生と一緒に治療をしていきましょう。

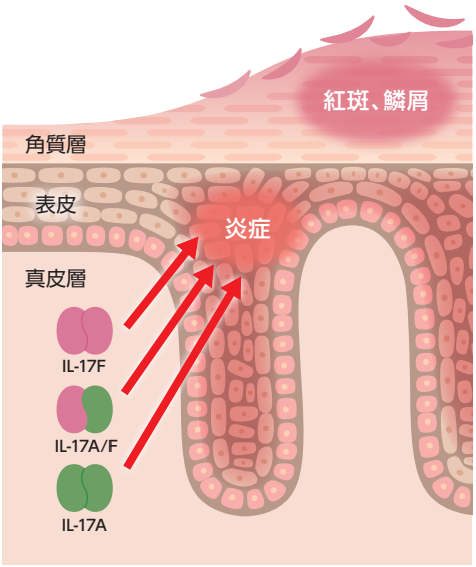
ビンゼレックス®の特徴
＜尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症＞

ビンゼレックス®とは

乾癬は、IL-17AやIL-17Fなどの免疫にかかわるサイトカインによって皮膚に炎症が生じます。ビンゼレックス®は、IL-17AやIL-17Fに結合して働きを抑えることで乾癬の症状を改善します[1)]。

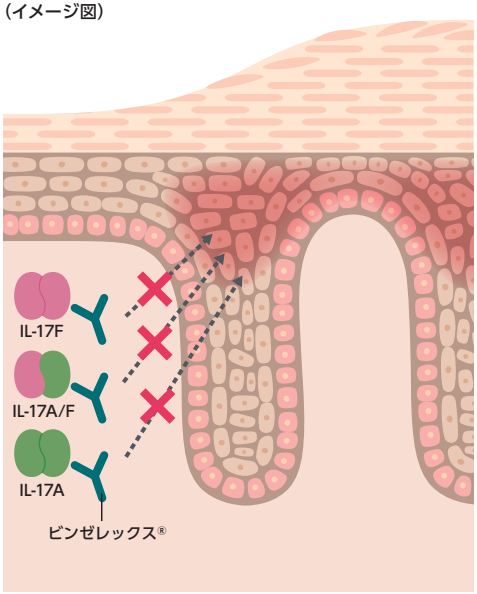
炎症性サイトカインIL-17AとIL-17Fが過剰にはたらいて炎症が起こっている状態

（イメージ図）



ビンゼレックス®の作用により皮膚の炎症を防ぐことで、乾癬の改善が期待される

（イメージ図）



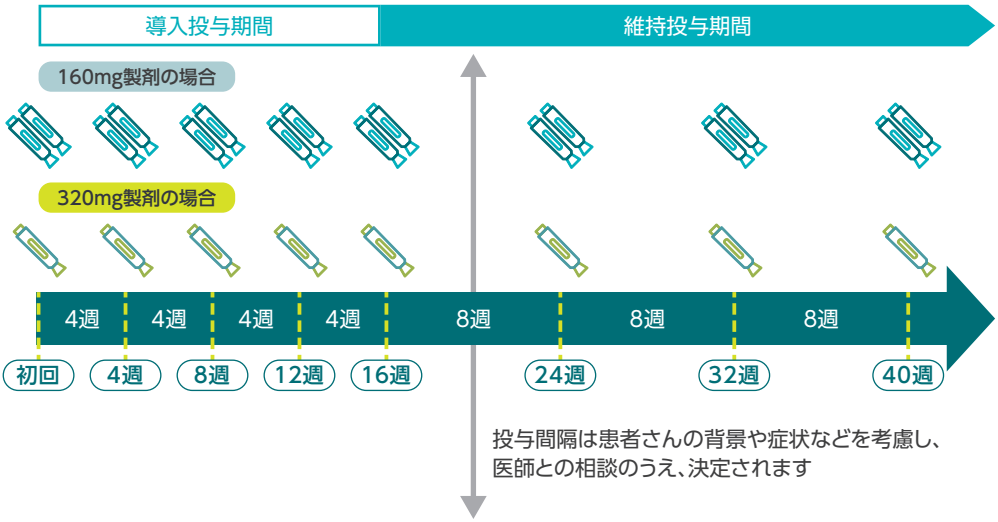
※サイトカインとは、からだを細菌やカビから守る物質の1つです。しかし、大量につくられると皮膚の炎症や関節の腫れなどを引き起こす原因になります[2)]。

1）ビンゼレックス電子添文 2025年5月改訂（第7版）.
2）小宮根真弓ほか編著:困ったときに役立つSTEP UP乾癬診療. 第1章 乾癬の基礎知識, 東京 メディカルレビュー社, pp.30-33, 42-51, 2019.

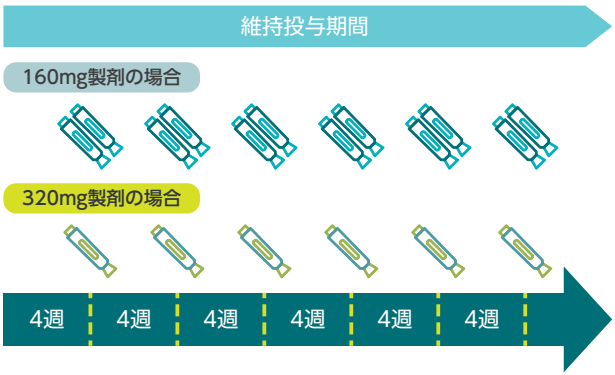
ビンゼレックス®の投与スケジュール
＜尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症＞

通常、1回320mg（160mg製剤2本または320mg製剤1本）を初回から16週までは4週ごとに皮下注射し、以降は8週ごとに皮下注射します。
自己注射は、4週ごとに投与する場合のみ可能です。
※患者さんの状態によっては、16週以降も4週ごとに皮下注射する場合があります。

● 通常



● 16週以降も4週ごとに投与する場合



：160mg オートインジェクターまたは160mg シリンジ×2本
：320mg オートインジェクター×1本

ビンゼレックス電子添文 2025年5月改訂（第7版）.

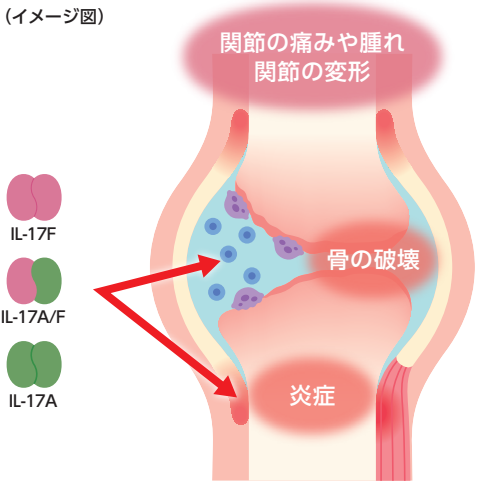
ビンゼレックス®の特徴
<乾癬性関節炎>

ビンゼレックス®とは

乾癬性関節炎は、IL-17AやIL-17Fなどの免疫にかかわるサイトカインによって関節部分に炎症ならびに骨破壊が生じます。ビンゼレックス®は、IL-17AやIL-17Fに結合して働きを抑えることで乾癬性関節炎の症状を改善します[1)]。

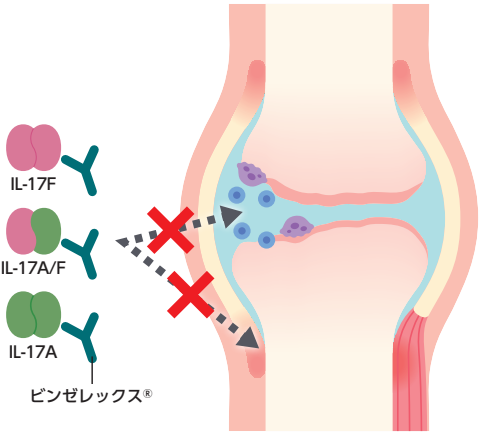
炎症性サイトカインIL-17AとIL-17Fが過剰にはたらいて炎症や骨破壊が起こっている状態

（イメージ図）



ビンゼレックス®の作用により関節部分の炎症や骨破壊を防ぐことで、乾癬性関節炎の改善が期待される

（イメージ図）

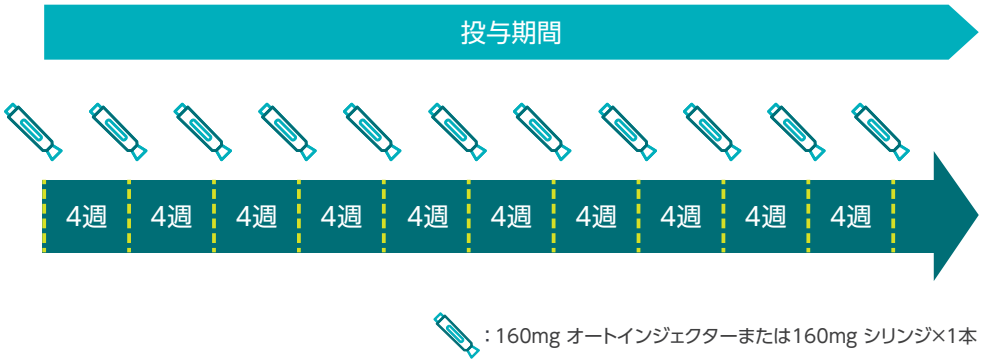


※サイトカインとは、からだを細菌やカビから守る物質の1つです。しかし、大量につくられると皮膚の炎症や関節の腫れなどを引き起こす原因になります[2)]。

1）ビンゼレックス電子添文 2025年5月改訂（第7版）.
2）小宮根真弓ほか編著:困ったときに役立つSTEP UP乾癬診療. 第1章 乾癬の基礎知識, 東京 メディカルレビュー社, pp.30-33, 42-51, 2019.

ビンゼレックス®の投与スケジュール
<乾癬性関節炎>

通常、1回160mg（160mg製剤1本）を4週ごとに皮下注射します。



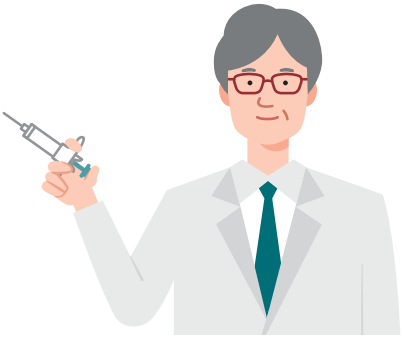
：160mg オートインジェクターまたは160mg シリンジ×1本

ビンゼレックス電子添文 2025年5月改訂（第7版）.

ビンゼレックス®は注射薬

ビンゼレックス®は注射薬です。医療機関で医療従事者に注射してもらう方法のほか、自分で注射をする方法※もあります。
自己注射は、4週ごとに投与する場合のみ可能です。

医療機関で注射



自己注射※

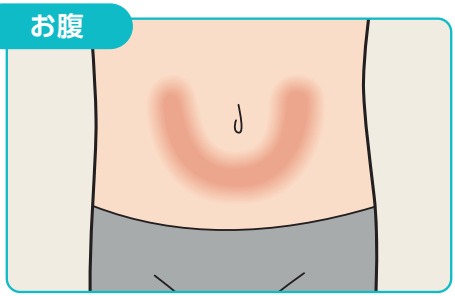
自己注射を行う方は、こちらの冊子をご活用ください。

※自己注射を行えるかどうかは医師の判断によります。また、自己注射について理解し、確実に注射を行えるように、医療従事者による教育訓練を受けることが必要です。

ビンゼレックス®を注射する部位

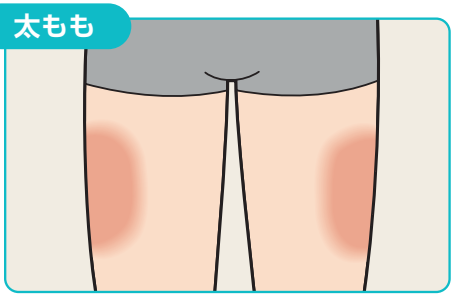
推奨される注射部位は、お腹、太もも、二の腕です。
自己注射する場合は二の腕ではなく、お腹か太ももに皮下注射します。
本人以外が注射する場合は二の腕でもかまいません。

お腹

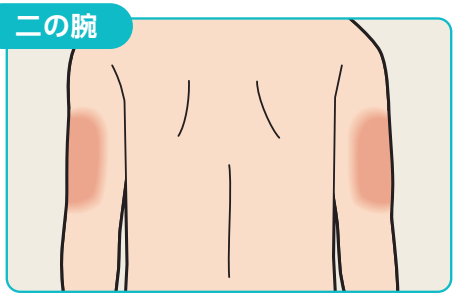


へその周囲（約5cm）は避けてください。

太もも



二の腕



本人以外が注射する場合
※本人以外が注射する場合でも、注射方法の指導を必ず受けてください。

注意点

- 1回の投与で2本打つ場合には、1本目と2本目の注射箇所は少なくとも3cm離してください。
- 前回とは違う箇所に注射してください。
- お腹に注射する際はへその周り5cm以内は避けてください。
- 皮膚症状（赤み、発疹、フケのようにポロポロと剥がれ落ちる状態、皮膚が少し盛り上がっている、硬くなっているなど）やケガ、痛みがある部位は避けてください。
- アルコール綿にかぶれる場合は、主治医や看護師、薬剤師にお伝えください。

ビンゼレックス®による治療を受けるにあたって

投与前の確認事項

以下の病気にかかったことのある方は、ビンゼレックス®の投与前に必ず主治医にお申し出ください。

□**結核**
（結核を活動化させるおそれがあります）

□**炎症性腸疾患（クローン病や潰瘍性大腸炎を含む）**
（炎症性腸疾患が悪化するおそれがあります）

以下に該当する方も主治医にお申し出ください。

- **現在感染症にかかっている、もしくは感染症が疑われる方**
（感染症が悪化するおそれがあります）
- **妊娠または妊娠している可能性のある方**
（治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみビンゼレックス®による治療が可能です）
- **授乳中の方**
（治療上の有益性および母乳栄養の有益性を考慮して、授乳の継続または中止が検討されます）
- **これまでに生物学的製剤の投与を受けたことのある方**
（可能であれば使用したことのある薬剤名をお伝えください）

ビンゼレックス®による治療を受けるにあたって

ビンゼレックス®の主な副作用

国内または海外で確認されているビンゼレックス®の主な副作用には以下のようなものがあります。

口腔カンジダ症

免疫力の低下や口腔内の状態が悪いことで、常在している真菌であるカンジダが異常に増えることで起こります。口腔内や舌の痛み、白い苔のようなものが付着したり、味覚異常などの症状がみられます。

上気道感染・鼻咽頭炎

多くはウイルスが鼻咽頭から咽頭粘膜に付着することで感染が起こります。鼻水、くしゃみ、鼻づまり、のどの痛みなどの症状がみられます。

過敏症反応

頻度は低いものの、薬剤に対するアレルギー反応としてアナフィラキシー（血圧低下、呼吸困難など）、アトピー性皮膚炎などを起こす可能性があります。

これらの症状に気づいたら、必ず主治医にお申し出ください

ビンゼレックス®による治療を受けるにあたって

ビンゼレックス®の投与中に注意すること

注射当日

- 注射した部位を揉まず、刺激しないように注意してください。

日常生活

- 感染症を防ぐため、日頃からうがいや手洗いを行い、規則正しい生活を心がけてください。
- 予防接種を受ける場合は、事前に必ず主治医にご相談ください。
- 妊娠・授乳を希望する場合は、すぐに主治医にご相談ください。

副作用かな?と思ったら

10ページで紹介した主な副作用のほか、以下のような症状があらわれた場合、速やかに主治医や看護師、薬剤師などへ相談してください。

- 口の中の痛み、舌の痛み、味覚異常
- 発熱、咳、鼻水、のどの痛み、頭痛、悪寒など風邪のような症状の継続
- 皮膚に今までとは違う発疹(じんましんなど)、かゆみ
- 息苦しさ
- 冷や汗、動悸
- 体のだるさ
- 腹痛、下痢、粘液や血が混ざった便
- 体重減少、食欲減退
- 肛門の違和感や痛み、膿

日常生活の注意点

乾癬の悪化を防ぐために気をつけること

運動・食事

- 乾癬は肥満と関連していると考えられているため、適度な運動を心がけましょう。
- 脂肪分の多い食事は乾癬を悪化させる原因になるため控えめにしましょう。
- ミネラルやビタミンの多い野菜などをバランスよく取り入れる工夫をしましょう。
- 辛いものや熱いものにより、かゆみが増すことがあるため控えめにしましょう。
- お酒により血行が良くなり、かゆみが増すことがあるため控えめにしましょう。

衣服

- 肌がこすれにくい、ゆったりとした衣服を選びましょう。
- やわらかく刺激の少ない素材を選びましょう。

入浴

- 高温や長時間の入浴によりかゆみが増すことがあるので、温度はぬるめにして長時間の入浴はできるだけ避けましょう。
- 体を洗う際は、ゴシゴシこすらず、石けんなどをよく泡立ててやさしく洗いましょう。

その他

- 乾癬が悪化してしまうことがあるため、なるべく掻かないようにしましょう。
- 乾癬には紫外線が有効であるといわれていますが、夏でも過度な日焼けは避けましょう。
- 乾燥により皮膚の症状が悪化することがあるため、特に冬は保湿を心がけましょう。
- 喫煙は乾癬の悪化につながることがあるので禁煙にチャレンジしましょう。

MEMO

製品についてのお問い合わせは

UCBCares®

ユーシービーケアーズ コンタクトセンター

TEL：0120－093－189

受付時間 9：00～17：30（土日・祝日・会社休日を除く）

2025年5月作成
BKZ-25001_2